科目コード	E2134	科目名	教育の原理				
履修区分	必修	開講期	1年前期	授業回数	15回	単位数	2単位
担当者	古井戸祐樹						
授業の概要	教育に関する学問的思考および教育学の基礎的知識を身につけるとともに、教育の成立についての相互の関係を理解する。また、教育の歴史に関する基礎知識を身につけ、それらと今日の多様な教育の理念とのかかわりを通して、過去から現代に至るまでの教育および学校の変遷を学ぶ。教育に関するさまざまな思想や多様な教育理念や実際の教育および学校とのかかわりを理解する。						

DPとの関連		
	①平和を希求し、その教育に努め、幸せな人生を創造しようとする力を身につける	○
	②人間愛のもと、ケアすることの意義を教育・保育の専門性において学び、専門的な知識・技術との統合を図る力を身につける	◎
	③修得した専門的な知識・技術を活用し、教育者・保育者として実践する力を身につける	○
	④教育・保育者として、子どもの育ちや学びに関わる問題について時代の変化を見通して研究し、新たな価値の創造を図る力を身につける	○
	⑤社会との連携を図り、人々の教育的・保育的ニーズや社会的ニーズに応えることができる力	○
	※DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力	

到達目標	1.教育の本質および理念や目標を理解している。 2.児童および生徒と教師、家庭と学校など、教育を成り立たせる要素とそれらの相互作用を理解している。 3.家族・家庭や子どもにかかわる教育の歴史について理解している。 4.現代における教育課題を歴史的な視点から理解している。 5.学校や学習にかかわる教育の思想や理論を理解している。
履修上の注意事項	・毎回の講義内容で配布される資料やノートをファイル（二つ穴綴じ）に整理するとともに、よく資料を読むこと。わからない文言や内容等がある場合は、自分で調べたり、質問したりすること。わからないままにしておかないこと。 ・講義中に検索等で、スマートフォンを活用する場合がありますが、それ以外は、電源を切って、カバンの中に保管してください。

授業計画

回数	講義内容【担当教員】	事前・事後学修
1	教育とは何か	適宜、提示した学習内容に従って行う。
2	近代教育思想とその理念	適宜、提示した学習内容に従って行う。
3	近代教育思想における学校の役割	適宜、提示した学習内容に従って行う。
4	学校と社会　ジョン・デューイの思想を背景にして	適宜、提示した学習内容に従って行う。
5	日本学校教育の変遷①	適宜、提示した学習内容に従って行う。
6	日本学校教育の変遷②	適宜、提示した学習内容に従って行う。
7	子どもとは何か。フィリップ・アリエス『〈子供〉の誕生』を題材にして	適宜、提示した学習内容に従って行う。
8	学力形成と人格形成　教育における測定と評価	適宜、提示した学習内容に従って行う。
9	学習指導要領総則編から見る現代の教育的な課題―改訂の経緯を踏まえて―	適宜、提示した学習内容に従って行う。
10	教育学における自由と規律	適宜、提示した学習内容に従って行う。
11	学級教授の思想	適宜、提示した学習内容に従って行う。
12	教育における権利と制度	適宜、提示した学習内容に従って行う。
13	教育における多様性	適宜、提示した学習内容に従って行う。
14	知識基盤社会における「資質・能力」、教育におけるコンピテンシーについて	適宜、提示した学習内容に従って行う。
15	全体の復習	適宜、提示した学習内容に従って行う。

成績評価方法	授業中での小課題10%　レポート　40%　試験50% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。

	書名・著者（出版社）	ISBNコード
教科書	木村元・汐見 稔幸編『教育原理』ミネルヴァ書房、2020年	4623088138
参考書	深谷潤・広岡義之 編著『教育の原理』ミネルヴァ書房、2021年	4284104756

教員からのメッセージ	本授業は、上記に示した「授業計画」に従って進めていきますが、各授業で教育に関する、出来る限り具体的・実際的ないくつかの事柄を例にとりながら、教育そのものを根底から考え直すようにして行きます。したがって授業は、講義形式でなされもしますが、なによりも、受講生の皆さんと一緒に教育をめぐって考えあっていけるような授業の成立を目指したく思っています。各回の授業の終わりには、小課題・小テストを行います。学生のみなさんは、日頃から教育関連の文献、新聞記事やニュースを捉え、教育に関するトピックを身近に感じ、教育の可能性や限界について、自分なりの問題意識をもって、講義に臨んでください。
教員との連絡方法	適宜、お知らせします。
実務経験のある教員	